

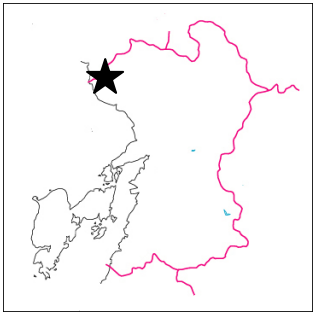
読書教育重点校 活動報告

熊本県立岱志高等学校（全日制）

熊本県立岱志高等学校

平成27年4月1日開校

- 全日制：普通科
普通科体育コース
普通科美術工芸コース
- 定時制：普通科



『平成19年10月熊本県教育委員会において「県立高等学校再編整備等基本計画」が策定され、荒尾高校及び南関高校を再編・統合し、新設高校を設置することを決定』
岱志高等学校全日制課程『平成30年度学校経営案』より
※平成29年3月 荒尾高校、南関高校閉校

蔵書数 利用状況(平成30年度(2018年))

項目	分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計	生徒一人当たり(冊)
蔵書	冊数	2,098	1,824	4,362	6,636	4,122	3,605	687	6,537	1,775	22,372	54,018	205.4
	百分率	3.9%	3.4%	8.1%	12.3%	7.6%	6.7%	1.3%	12.1%	3.3%	41.4%	100%	
除籍	冊数	591	12	22	48	53	4	12	41	60	215	1058	
貸出	冊数	54	131	35	194	372	432	77	1,991	65	3,110	6,461	24.6
	冊数 図書+雑誌	63	131	35	194	372	435	77	1,992	65	3,110	6,474	24.6
	全定生徒職員の貸出冊数	82	174	53	235	404	555	81	2,199	85	3,429	7,297	
購入※	冊数	12	21	11	54	64	43	9	168	3	251	636	2.4
※県費のみ													生徒数はH30年5月1日現在で計算。(263名) (入学時H30.4.1現在:263名)

〈来館者を増やすためにいくつかの手法〉

- 館内環境の整備、清掃
- 館外へのアピール（図書館便り※主に新刊案内、生徒図書委員会発行の図書館便り、廊下に面した飾り棚、ガラス窓の活用など。）
- 定時制生徒の利用可能（利用者 ID 発行）
- こまめな延滞本督促 →次の貸出につなげるきっかけに！
- リクエストや予約への対応（相互貸借、購入受入）
- 雑誌の種類を増やす（貸出も可能）
- 授業そして部活動関連、進路関係の図書館資料充実
- 季節や行事を感じることでできる図書館の雰囲気づくり
- 館内BGM（昼休み、放課後等） …など。



新聞記事の掲示（入口付近）
生徒や職員の活躍、本校関連記事を紹介。



廊下に面した飾り棚の装飾
学校行事や季節、なるべく月ごとに変える。
本も一緒に展示、紹介。



雑誌やマンガを新しく入れよう！

2019年度現在24タイトルの雑誌をそろえている。新規受入雑誌は利用者の声を反映するために投票を行った。マンガは教科や部活動に関連したものを中心に受け入れている。



雑誌付録の抽選

雑誌の付録は抽選してプレゼント。抽選券は図書委員作成。抽選は図書委員が行う。

ブラックボードの設置

「新しい本入りました！」「返却忘れずに！」など、事務的な連絡をはじめ、新刊案内や図書館からのお知らせなどを適宜書いている。図書館入り口前の外廊下に設置。



季節や行事を感じられる取り組み
七夕の短冊を図書館内2箇所に設置。
図書館出入口付近に竹を用意した。

授業風景（教科：保健）

2年生：環境問題に関するレポート課題



〈図書カード5万円分購入図書紹介〉（一部）

『個性』ってなんだろう？』／『ビジュアル理科事典』／『ガタガタ』1～2巻、sp.／『小学館版学習まんが 世界の歴史』1～17巻／『大人になる前に知る命のこと』／『いろいろな性、いろいろな生き方』1～3巻など。

干潟、命や個性の大切さを内容とする本を受け入れました。
熊本地震直前に応募したものが3年後に寄贈をいただく形となりました。この度は誠にありがとうございました。

3年間の貸出冊数に応じて、3年生には卒業時「多読賞」を表彰する。

再編時に4816冊の本を移設した。（郷土資料や美術・芸術系中心）美術・芸術系資料の充実で、授業や部活動にもおおいに活用されている。他校で行われている「図書館終礼」も実施してみたい。

現況と今後の課題

- ・20年以上実施されてきた『朝読書』が今年度日課からなくなった。そのため令和元年度は貸出冊数がゼロの生徒が増え、貸出冊数も1000冊近く減少した。
- ・生徒が自ら資料を探せるような働きかけ、分かりやすい見出しづくりなどの整備が必要。
- ・新聞の活用。
- ・授業で使用する資料の更新と充実。
- ・授業担当者への図書館利用マナーなどの徹底。
- ・漢字、文章を読むことが苦手な生徒が多い。授業などを通じ、本を開く、読む機会を増やす必要あり。
- ・読書を通じて語彙力を高め、自らの気持ちなどを適確に表現できるような人間形成が望まれる。